

5/19 グラウンドゴルフ用具一式を町に寄贈



リニューアルしたあけぼのグラウンドで、サッカーだけでなく気軽にグラウンドゴルフを楽しんでもらいたい、そうした思いから、長年グラウンドゴルフの普及に取り組まれてきた門屋映章さん^{えいしょう}がこのたびグラウンドゴルフの用具一式を町に寄贈されました。

5月19日には、その用具を使用して「第10回門屋杯グラウンド・ゴルフ大会（主催：愛南町グラウンド・ゴルフ協会）」があけぼのグラウンドで開催されました。開会式で清水雅文町長が「県内でもグラウンドゴルフ普及の第一人者である門屋先生の思いのこもった大会がいつまでも続くことを願っています。」と祝辞を述べ、参加した136名は和やかな雰囲気の中で競技を楽しみました。

28年前にグラウンドゴルフに出会って以来、コツコツと仲間を増やして競技の普及に努めてこられた門屋さん。グラウンドゴルフの魅力は「最後まで全員がプレーできる」ことだと言います。この日90歳を迎えた大ベテランは「これからもグラウンドゴルフを通じて人間関係を作るお手伝いをしたい」そう話す軽快にグラウンドへ駆けていきました。



5/15 第4回ツール・ド・あいなん

町内外から自転車愛好家ら約150名が集い、「第4回ツール・ド・あいなん」が開催されました。この大会は110kmコースと75kmコースに分かれており、110kmコースは山出憩いの里温泉を朝8時に出発し、西海半島を一周した後に篠山方面に向かい、山出憩いの里温泉でゴールする設定となっています。参加者は愛南町の絶景地である高茂岬をはじめとする海岸部や、篠山に至る山間部の風景を満喫しながらサイクリングを楽しみました。

第2回大会から3回連続で出場している吉田聡さん^{そう}（中泊）は、「高茂岬や篠山沿いの絶景を満喫できることと、地元の美味しい料理を味わうことができるのがこの大会の魅力。参加者同士で交流もできて楽しい」と話されました。



カツオや鯛コロッケなど、地場産品を用いた料理を味わう参加者の皆さん

5/19 城辺小学校でえがお体操



県内各地で「愛顔（えがお）つなぐえひめ国体・えひめ大会」のPR活動を実施している「えがおキャラバン隊」が城辺小学校を訪れました。大会イメージキャラクターの「みきゃん」と愛南町ご当地キャラクター「なーしくん」も参加して、子どもたちと一緒に「えがお体操」や〇×クイズを行いました。

2年生の金澤里空くんは「〇×クイズが楽しかった。1年生のときから『えがお体操』をしているのでうまくできた」と笑顔で話しました。

キャラバン隊は今後も県内各地の小中学校などを訪れて「えがおダンス」や「えがお体操」の普及を通じた大会PR活動を行う予定で、町内では9月に中浦小学校を訪問することになっています。



4/
23 交流の輪を広げよう
第21回あまなつコンサート

障害者の社会参加を促進し、障害者への理解を深めて交流の輪を広げようと、南宇和障害者の社会参加を進める会主催による「第21回あまなつコンサート2016」が社会復帰施設「平山寮」で開催され、町内外の8団体が歌や演奏などを披露しました。

会場では各種団体が出展するバザーも行われ、大勢の人で賑わいました。



5/
7 一夜限りの特別な演出の中でディナーを
南予プレミアムダイニング in 愛南

南予地域の食や自然、歴史文化など様々な魅力を全国に発信する「えひめいやしの南予博2016（平成28年3月26～11月20日開催）」の主力イベント、プレミアムダイニング in 愛南が須ノ川公園で開催されました。

県内外から60名が参加し、公園内に設営された一夜限りの特設会場で「ヨーヨーキッチン！（松山市）」料理長の牛川雄一さんが提供する愛南町産のサツキマスや伊予の媛貴海（魚種名：スマ）、媛っこ地鶏などの食材を使ったディナーを楽しみました。

えひめいやしの南予博2016は11月20日まで開催され、その間、南予各地でさまざまな催しが行われます。須ノ川公園では7月にもマリンレジャーやマリンフードなど「海」をテーマにした「海人キャンプ in 愛南」が行われる予定です。

本日!海日和!! vol.67 「蓑笠子」



ハナミノカサゴの幼魚

ミノカサゴは優雅なヒレを持っている魚で、ご存知の方も多いのではないだろうか。ミノカサゴの名前は、「蓑と笠を身に付けているように見えるから。」という説が有力なようだ。蓑も笠もこれからの季節に欠かせない雨具であったが、今では博物館でしか見ることができない。

ミノカサゴの胸ビレと背ビレには強い毒があるので、注意が必要である。ダイバーが近づいても逃げるところか、ヒレを立てて威嚇しながら近づいてくることさえある。

私も不注意から、刺されてしまったことがある。刺されると、太い針を突き刺されたような激しい痛みが走り、半日ほどは痛みが取れなかった。

蓑に例えられる胸ビレは、幼魚の時には特に美しい。体よりも長いヒレをユラユラとたなびかせながら泳ぐ姿を見ると、刺された痛みも忘れて、撮影に熱中してしまう。

(撮影地：鹿島)

愛南サンゴを守る会 西尾知照

4/27 なーしくんラッピングカーが来庁

愛南町ご当地キャラクター「なーしくん」がラッピングされた車両が、全日本ラリー選手権に出場しています。4月27日、ドライバーを務める福永修あきひささんが愛南町役場に来庁され、車両を披露しました。その後行われた久万高原ラリーでは3位に入るなど活躍されています。



4/28 道の駅「みしょう MIC」高齢者の安全安心をサポートします 「安ちゃん・心ちゃんの店」活動開始式



道の駅「みしょう MIC」で「安ちゃん・心ちゃんの店」活動開始式が行われました。「安ちゃん・心ちゃんの店」は、地域に密着した事業所が高齢者の安全で安心な暮らしを守るサポート活動を自主的に行う取り組みで、愛媛県警が推進しています。参加事業所は、愛媛県警から提供を受けた特殊詐欺被害防止や交通事故防止などのチラシを印刷して店を訪れた高齢者に配布や声かけを行い防災意識の向上を図ります。駅長代理の永元将博まさひろさんは「今後も M(みしょう)I(インフォメーション)C(コミュニティ)の名前が表すように地域と関わって情報提供することを約束します」と力強く話されました。

5/5 愛南ファミリー釣り大会 2016

愛南町観光協会の主催で、愛南ファミリー釣り大会2016が福浦の一字防波堤で開催されました。今年はえひめいやしの南予博2016の地域企画イベントとして開催され、町内外から24組・89名の方が参加して釣果を競いました。当日は途中でやや風が強くなったものの、絶好の釣り日和となり、参加者は次々と魚を釣り上げていました。



5/10 柏地区お田植えまつり

柏地区の初夏の風物詩、「お田植え祭り」が金峰神社の近くの神田で開催され、柏小学校の4～6年の女子児童15名が田植えを行いました。

雨のため合羽を羽織ったお田植えとなりましたが、女子児童は目印の縄にそって丁寧にもち米の苗を植えていきました。

もち米は9月に収穫され柏地区の敬老会や秋祭りで使われる予定です。